

退徹手当ハ左ノ如ク制定ス

一、滿五年勤俸者十四日分 以上一ヶ月シ加フル毎三日分ヲ加算ス

二、工場ノ都合ニシテ臨時休業場合ハ日給ノ六分ヲ支給スルコト

但シ一年未満者始テ大急ノ場合ハコノ限リニテラズ

三、従業員ハ所定ノ能率以上ノ場合ハ此ノ限リニテラズ

不為所定ノ能率以上ノ場合ハ此ノ限リニテラズ

昭和六年一月二十一日

工場主 辰島万作  
従業員代表 笠井駒吉 外四名  
組合代表 野口栄次

勞務第六七六號

昭和六年二月二十五日

警視總監 丸山鶴吉

三一九 解決ニ付

内務大臣 安達謙藏殿  
警務局長官 吉田茂殿  
各廳府縣長官殿

〔北海道官報 第六四號 第四頁〕

労働組合 全所

多喜電球製作所勞働争議ニ関スル件 「日本化學」(第一報)發生

要旨  
一、標記馬公成績不良ナルル川市川ノ兩名ヲ去ル十六日解雇ス

二、被解雇者中市川ハ日本化學ノ支機ヲ得テ復職要求ス

三、東京職工中市川ト連絡ヲ有スル水村虎藏等市川ニ不穩ノ言動ヲ行フ所轄署ヲ拘留十月ニ及ス

標記争議發生状況左記ノ通

0. 2. 27  
2180